

# 高瀬川だより

NPO法人京都高瀬川繁栄会報  
編集人 田村佐起三

〒六〇四一八〇〇一  
京都市中京区木屋町通三条上ル  
電話 (〇七五) 二二二二・一八一八

## 《皇位継承問題、日本国は?》

昨年未、安定的な皇位継承を検討してきた日本国政府の有識者会議が報告書をまとめた。皇族数を確保する為、女性皇族が結婚後も皇室に残る案と旧皇族の男系男子を養子に迎える案が盛り込まれた。長期間かけて熱心な討論がなされた筈だが女性・女系天皇の是非など今最も必要な抜本的対策には踏み込んでいない印象だ。全く的外れと！  
一方、日本と同様に伝統を尊重し長い歴史を誇る英国王室では2013年に大きな変化があった。約三百年ぶりに法律を改正、王位継承を男子優先から完全な長子優先に移行することになったのだ。ジャーナリストの多賀幹子さんは「男女平等を重視する欧州王室は男子優先という従来の継承制度から次々と転換している。女性・女系天皇の議論が進まない日本の皇室は時代の変化に取り残されている」と言う。(WEB NEWS 抜粋)

## 《本当の美味しさ》

日本海の波音が聞こえる道路沿いの魚屋に入りました。  
棚に並べられた魚の何尾かは、口をパクパクさせ、尾ビレを小さく動きに動かしていました。  
早速店主に頼みました。  
「このピクピクしてるのを刺身にしてください。」  
「今食べるのならそれよりこっちにしてください。」  
と店主が示してくれたのは同じ種類のすでに動きの止まっている魚でした。  
生きのいい、新鮮そのものの刺身が食べられる思いで注文した勢いがそがれました。  
店主は続けました。「どうしても、この生きてるのがいいのなら作ってあげるから夕方に取りにおいで。」  
死後硬直が解け、内からの美味しさがにじみ出る、その時間の大切さを教えられました。

## 季節の家庭料理

田村真紀

### 《三月 鯖と紫たまねぎのマリネ》

〔作り方・四人分〕

鯖四切れ・紫たまねぎ一個・塩少々・片栗粉大匙二・オリブオイル大匙二・マリネ液(酢大匙二・サラダ油大匙二・砂糖大匙二半・塩小匙半分)  
紫玉ねぎは薄切りにしてしばらく水にさらし、水気をしっかり絞る。合わせたマリネ液に玉ねぎを漬け込み冷蔵庫で冷やしておく。鯖の両面全体に塩を振り、十分以上置く。(臭みが抜け、魚の身がしまる)。ペーパータオルで水気を拭き取り、鯖を一口大に切り、片栗粉を両面に薄くまぶしつける。フライパンにオイルをひき中火にかけ、鯖を皮目から入れ、焼き色がついたら裏返し焼きつける。蓋をして弱火でしばらく蒸し煮し、温かいうちにマリネ液に漬け込み味をなじませる。

## 京都国立近代美術館

3月23日～5月8日

### 《サロン！雅と俗 京の大家と大坂画壇》

江戸時代、京都では文人画家の池大雅や与謝蕪村、実物写生に基づく絵画で人気を博した円山応挙など個性溢れる画家が活躍しました。一方大坂では木村兼葎堂、岡田米山人ら町人としての本業がありながら自娛の精神による絵画を描いた文人が数多くいました。彼らは身分や職業に関わりなく、幅広い交流の輪を作りました。京都と大坂は密接な関係の中で発展を遂げ文化サロンと言うべき濃密な文化人のネットワークが形成されました。さらに京都や大坂には他の地域から多くの文化人が集まり浦上玉堂、田能村竹田、谷文晁らもこの文化サロンの一員でした。

本展では、江戸時代から近代にかけて京都と大坂で活躍した画家の代表的な作品を紹介するとともに、その交流によって形成された文化サロンにも焦点をあて、当時の文化交流の様相を紐解きます。

## 宗教法人花鳥寺 土口哲光住職の説法

### 《いのち》

達人の書家・三藤観映先生に師事して21年。一門の会報「映心会」新年号・師の特別寄稿「いのち」で文中に私へご褒辞を戴いている。  
「毎回、作品づくりでは、百枚を超える制作で、選別の時は10枚選んで下さいと。縁ある方にもらつてもらおうのですと。度重なる病に打ち勝ち「今、作品を書けることが嬉しいのです。人の輪が広がって行くのが有り難いのです」と。まさにいのちがけの作品づくりなのです。そしてその心が墨縁を結び、教化そのものだと感服させられます。書に親しむものとして、これほど今、書に生きる弟子のいることを誇りに思うのです。その人の名は土口哲光であり、東寺の元教化部長を務めた人物である」と。まことに望外の幸いです。

## つれづれの記

山崎辰巳

### 《これまでの普通が通じない時代》

新型コロナウイルスが確認されて以来僅か2年間に、我々の容量に収まり切らない数の新語・専門用語が現れ、マスク・手指消毒が習慣化し、在宅勤務やテレワークなど、生活様式にも大きな変化が始まった。そして様々な業種に時短営業や休業要請が出され、これまで「普通」や「当たり前」だったことが根こそぎ覆されてしまった。  
緊急事態や蔓延防止策が繰り返され、巣ごもり状態が続く中で、気晴らしにテレビを観る機会が増えたが、コロナやオミクロン関連のニュース番組以外はコロナ前と何ら変わらず、ドラマやバラエティ番組が氾濫し、人気アイドルや売れっ子お笑い芸人が次々と現れて商品名をアピールする騒がしく品性に欠けるCMばかり。CM制作者や提供スポンサーは、今こそ良識ある時代認識に立って、良質の番組とCMを心がけてもらいたいものだ。